

# 伴野豊の絆レポート No.79



## ○日本の未来、地球の未来を議論する国会へ。

皆さん、こんにちは。伴野豊です。9月6日午前3時8分頃、北海道胆振（いぶり）地方を震源とする強い地震が発生しました。7日午前、政府はこの地震による死者が16名、安否不明者26名、多数のけが人が出ていると発表しました。（2018年9月8日現在、死者35名、心肺停止2名、安否不明者3名）お亡くなりになられた方々に対しては、衷心よりお悔やみを申し上げるとともに、被災された関係者の方々、被災現場等でご対応されている皆様方に心からのお見舞いを申し上げます。

地震被害と言え、本年6月には大阪北部地震が発生し、5名がお亡くなりになり、300名以上がおけがをされたばかり。M6.0以上の地震の約2割が日本で発生しており、残念ながら、日本は世界で最も地震が多発する国のひとつであることを改めて思い知らされました。

地域自主防災のあり方、行政における防災のあり方など、尊い命を守るため、「想定外」をひとつでも失くすよう国を挙げてやれることは全てやり尽くさねばなりません。

さて永田町です。日本の労働人口は約6000万人。直近の外国労働者は約127万人（2017年10月末時点）とされており、労働力の約50人に1人は外国人が担っているのが現実です。とりわけ、15~64歳の生産年齢人口は2040年度に2018年度比で約1500万人減となる見込みです。そうした背景の下、政府は外国人労働者の受入れ拡大を表明しました。

人手不足が深刻な建設や農業、介護など5業種を対象に2019年4月に新たな在留資格を設けるとのこと。原則、認めていなかった単純労働に門戸を開き、2025年までに50万人超えの就業を目指すようです。欧米先進国が抱えている「移民政策」とならないように「一定の専門性・技術を持つ即戦力の外国人材を幅広く受け入れていく仕組み」を早急に構築する必要があります。

ポイントは、「日本語教育」と「社会保険加入」です。今秋にも予定されている臨時国会での議論に期待します。

北海道での地震発生により今月7日から予定されていた自民党総裁選は実質10日からになりました。投開票の日程は変更なく、20日にも雌雄は決するものと思われます。日本の未来、地球の未来を議論する国会になる事を切に願います。

## 伴野 豊 拝

### 今月の気になる言葉

#北海道地震 #外国人労働者 #移民政策

検索 🔍



8月26日（日）  
極真杯・若鯨杯空手選手権大会  
（志田味スポーツランドにて）



9月8日（土）  
翠の会書展  
（半田市雁宿ホールにて）



9月10日（月）  
早朝街頭活動  
（朝倉県議・小栗市議と）

ば

ばんの豊フェイスブックページ

検索 🔍

地元事務所 〒475-0836 半田市青山 2-19-8

TEL : 0569-25-1888

HP : bannoyutaka.jp

衆議院愛知第8選挙区：半田市 常滑市 東海市 知多市

阿久比町 東浦町 南知多町 美浜町 武豊町

